

SIX BOX EXHIBITION

- 6つの視点から読み解く伝統工芸 -

SIX BOX EXHIBITION は、伝統工芸の分野で活躍する方の作品などを6つの箱を用いて展示し、丹南地域の伝統工芸産業の魅力を紹介する取り組みです。モノだけではなく技術や環境・職人の想いなど、ひとつの面だけではなく多面的に伝統工芸を知ることによって、立体的にその魅力が浮かび上がってきます。6つのテーマをもった箱の中の展示を、さまざまな角度から、ぜひじっくりとご覧ください。

1. 本堅地 作業工程

選び抜かれた木地から完成まで約2年を費やして、堅牢で豪華な漆器は作られます。

数ある漆器の中でうな重は、最も過酷な使用頻度と思われ、丈夫な越前漆器の高い技術が求められます。

2. 丸物と角物

越前の漆器づくりは、轆轤(ろくろ)を使い回転させながら削ったり塗ったりする丸物と、加工した板を組み合わせる角物とに分かれます。丸物は椀や鉢など、角物は箱や盆など、同じ漆器でも木地づくりや塗の工程も違い、職人も異なります。もともと分業制が確立されている産地で、効率よく作られています。

3. 越前漆器+α

異業種交流や技術のコラボは以前から盛んに行われてきました。

・越前打ち刃物
蒔絵師 塚田孝一郎作

・越前和紙
うるわし(杉原商店)

・メガネ
オプトデュオ

4. COFFEE

コーヒーカップ&ソーサー スプーン付
塗り：古代朱と溜

古代匠 畠中 畠中昭一氏 作

シュガーポット 台付 竹製トング付

素材：樺

塗り：木地呂塗 内と蓋 銀溜

六本木 Ryuzu 飯塚隆太氏 監修

5. 富士山盛皿

日展作家 松田章氏との共同制作
俯瞰的に富士山を捉え、布を樹脂で固め表面に和紙を張り金銀で加飾、大使館のパーティをイメージして作りました。スタッピングも可能。

令和元年
越前漆器展覧会福井県知事賞
全国漆器展経済産業省製造産業局長賞

6. ワイングラス

ひとつの木片から、高度な技術が要求される轆轤引きでの木地づくり。緊張感漂う華奢なフォルムに何度も漆を塗り重ね、梨子地など高度な研出し蒔絵の技術を駆使し仕上げた逸品です。

令和3年越前漆器展覧会鯖江市長賞

成実 嘉宣

Narumi Yoshinori

成実漆器店

越前漆器

越前漆器の発信地である福井県鯖江市河和田地区は、木地師や塗師、蒔絵職人などの職人をはじめ、問屋や販売店など漆産業に関わるスペシャリストが集積する全国でも珍しい漆器産地です。産地全体で分業体制を確立し、互いに連携しあいながら技を磨いてきた歴史があります。私たち成実漆器店は、そのような由緒ある河和田の地で、1934年に創業した漆器工房です。盆や膳、箱物に塗りを施す角物塗師として、茶道具、仏具、祝儀調度品など様々な製品を、親子三代にわたり手がけてきました。近年は料理用の器に軸足を移し、東京や京都の料理店やホテル、旅館様からご用命をいただくなど、全国に販路を拡大しています。私たちの技術はお客様の声に耳を傾け、教えていただくことの積み重ねで、磨かれてまいりました。古来からの技法を継承しながら、現代の生活様式に合った樹脂製品やモダンテイストを取り入れたデザインなど、新たな試みも実践。これからもお客様の“声”に寄り添うものづくりに真摯に取り組んでまいります。

